

企業にとって身近な事例をもとに学べる！

第二版

事例数を新たに増やし、
内容ボリュームアップ!!

CSR、パワハラを
テーマとした
新たな事例も追加!

会社員のための 事例で学ぶ コンプライアンス

- 監修 / 島田 浩樹 (設楽・阪本法律事務所弁護士)
- 体裁 / テキスト : B5判・本文2色刷・160頁
- 価格 / テキスト : 2,000円 (本体1,905円)

The Textbook of Compliance
for Office Workers
through Case Studies

会社員のための
事例で学ぶ
コンプライアンス

- Unit 1 コンプライアンス総論
- Unit 2 職場・社員とコンプライアンス
- Unit 3 顧客とコンプライアンス
- Unit 4 目録業務とコンプライアンス
- Unit 5 契約関係とコンプライアンス

第一法規

本書の構成

各テーマの事例を紹介

事例 20 パワハラで職場環境にヒビが入る

入社2年目の女性社員Aさんが、得意先の担当者の不興を買ってしまいました。Aさんの上司B課長は、Aさんを会議室に連れて行き、長時間、大声で叱責しました。

POINT 職位や権限などを背景として、上司が本来の業務の枠を超えて、部下に嫌がらせをすることをパワハラ（パワー・ハラスメント）といいます。パワハラは、セクハラ同様、憲法で規定する基本的人権を侵害する行為です。しかも、そのようなことがあれば、社員の働く意欲を減退させるなど、職場環境に悪影響を与え、生産性の低下にもつながりかねません。

解説 1 個人の責任、会社の責任

上司が業務上の適正な範囲で部下の指導や叱責を行うのは当然のことです。しかし、軽微な業務上の失敗に対し、執拗に反省文を書かせる、長時間密室で罵声を浴びせるなどの行為は、業務上の適正な範囲を逸脱するものであって、パワハラにあたります。

このような場合、行為者自身は、不法行為として損害賠償請求を受けることがありますし、会社は、使用者責任を問われるおそれがあります。また、労働安全衛生法にもなう安全配慮義務があるので、パワハラに気が付いた場合には、この義務にも違反することになり、労働安全衛生法第70条第2項に規定する労働安全衛生法第3条（事業者等の責務）に違反した場合には、労災認定されること

解説 2 不当な差別、嫌がらせの禁止

パワハラが生じると、被害者は精神的に大きなダメージを受け、うつ病になることさえあります。また多くの場合、職場の雰囲気は悪化し、モラルの低下が生じます。そして、このような不祥事が公になると、会社の社会的評価は傷つき、ブランドを損なうことにもなります。

したがって、パワハラやセクハラ事件が起きないように、社員個々人の人権の尊重を全社に徹底することが必要です。上司・部下という関係は、業務上の適正な範囲において指揮・命令がなされる関係（会社における役割分担）であるに過ぎず、決して人としての上下関係ではないことを、改めて確認してください。

解説 3 風通しの良い職場環境づくり

会社の負っている安全配慮義務には、社員が業務の遂行にともなって生じる疲労や心理的負荷等の蓄積によって、心身の健康を損なうことがないよう配慮する義務も含まれます。

社員がハラスメント（パワハラ）に悩まされないように会社は、自身の競争力を高めるために、形成や、ハラスメントの被害者への対応、公正な人事処遇の確保などが、当該企業の競争力の確保に不可欠な要素となります。

各テーマのポイントを
コンプライアンスの
観点から解説

根拠法令等 ▶ 憲法11条（基本的人権）、民法709条（不法行為による損害賠償）、715条（使用者等の責任）、415条（債務不履行による損害賠償）、労働契約法5条（労働者の安全への配慮）、労働安全衛生法3条（事業者等の責務）

根拠となる法令等を明示

事例の背景にある社会的な動向や
法令等の考え方やポイントを解説

理解度確認テスト（別売）

テキストで学習後、インターネットで理解度を確認できます。*
4択式で全70問の中から20問を出題。自動採点方式なので結果をすぐに確認でき、何回でもチャレンジできます。
マネージャーID*では、受講者の進捗状況の確認・管理をすることも可能です。

*理解度確認テストはASPサービス（専用サーバ内での受講履歴管理を行うサービス）です。
*確認テストID、マネージャーIDは別途お申込みが必要です。

2. 組織とコンプライアンスの関係を図るための説明のうち、誤っているものを選んでください。

- わが国の刑事法は、厳格化して犯罪行為に個人を処罰する考え方を定めていて、たとえは、入札入札に参加した社員、それを発覚した上司は、それぞれの立場で法的な処罰を受けなければならない。
- 特に重要な場合に限って、個人の処罰を前提に、会社など事業者にも罰則を科す措置を「両罰規定」と呼ぶ。
- 違法な業務命令に従った場合は労働契約上の義務ではないので、違法な業務命令に従わなかったことを理由とする解雇や懲戒処分は行わない。
- 従業員が上司からの命令で違法な行為を行った場合、刑事法の処罰を受けることは当然であるが、会社がその従業員を解雇することは許されない。

理解度確認テストの結果

「合格」	
あなたの答え	判定 得点
4 従業員が上司からの命令で違法な行為を行った場合、両罰規定の適用を受けることは当然であるが、会社はその従業員を解雇することは許されない。	○ 5



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
http://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-696
Fax. 0120-202-974

内容構成

Unit 1 コンプライアンス概論

1 コンプライアンスとは何か

- 事例01 コンプライアンスって、法令を守ることでしょね
- 事例02 あなたの会社の常識は社会の常識とイコールですか？
- 事例03 コンプライアンスはだれのため？
- 事例04 内部統制ってどういう考え方ですか？
- 事例05 内部通報したことで、左遷などされたら困ります
- 事例06 上司の命令による不正行為ならば責任はない？
- 事例07 会社が役員や従業員を訴える背景とは？
- 事例08 危機発生後の対応について会社の未来は一変する
- 事例09 CSRってなんですか？
- 事例10 海外の生産委託先で不適切な労働慣行

Unit 2 職場・社員とコンプライアンス

1 職場のコンプライアンス

- 事例11 一方的な賃金カットの通告は認められるか？
- 事例12 業務命令に反したら、懲戒処分を受けるか？
- 事例13 会社には、社員の心身の健康に配慮する義務がある？

2 人事とコンプライアンス

- 事例14 会社の業績が悪いときのリストラ解雇は、何の制約もなく許されるか？
- 事例15 転勤命令を拒否したら解雇されるのか？
- 事例16 業務時間外に社外で起こした暴行事件は懲戒処分の対象となるか？
- 事例17 60歳以上の雇用延長を認めないことは許されるか？

3 セクハラ・差別とコンプライアンス

- 事例18 上司の立場を利用して関係を迫られたら？
- 事例19 社員がセクハラをした場合の会社の責任は？
- 事例20 パワハラで職場環境にヒビが入る

4 新しい就労形態とコンプライアンス

- 事例21 派遣先企業は派遣期間終了後の雇用契約を申し入れなければならない？
- 事例22 フレックスタイム制で超過した時間を次の清算期間に繰り越せるか？
- 事例23 ワーク・ライフ・バランスで残業代がなくなるのか？

Unit 3 環境とコンプライアンス

1 企業と環境問題との関係

- 事例24 持続可能な社会の実現に向けた企業の責任は？
- 事例25 企業が環境問題に取り組む際のポイントは？

2 地球温暖化防止・省エネルギーとコンプライアンス

- 事例26 温室効果ガスの削減は義務ですか？
- 事例27 企業に求められる地球温暖化対策とは？

3 廃棄物処理・リサイクルとコンプライアンス

- 事例28 循環型社会を形成するキーワード「3R」とは？
- 事例29 産業廃棄物の処理を委託された産業廃棄物処理業者が不法投棄した場合の会社の責任は？
- 事例30 会社のパソコンを処分する場合、リサイクルしなければならない？
- 事例31 民間企業にも広がるグリーン購入とは？

4 公害防止・化学物質管理とコンプライアンス

- 事例32 有害物質を取り扱っていた工場等を廃止する際に留意すべき事柄は？
- 事例33 化学物質の排出・移動量は報告しなければならない？
- 事例34 業務用エアコンの廃棄には、フロン破壊処理費用がかかるのか？

Unit 4 日常業務とコンプライアンス

1 業務上の違反・不正行為

- 事例35 売上目標達成の厳命を受け、粉飾決算が蔓延したら？
- 事例36 家族が経営する会社に有利な発注をしたら？

2 消費者保護とコンプライアンス

- 事例37 訪問販売でウソの説明をしたら？
- 事例38 通信販売の広告で返金等の条件が実際の条件とは異なる場合は？
- 事例39 電子メール広告を送信する際の注意点は？
- 事例40 消費者から契約を取り消したいといわれたら？
- 事例41 消費者に不利益な特約を契約に規定していたら？
- 事例42 商品の性能が実際よりも優れているとの表示は？
- 事例43 実際より高い金額を市価として、販売価格を安く見せたら？

3 公正競争とコンプライアンス

- 事例44 接待を受けた相手に対して、取引に手心を加えたら？
- 事例45 競争入札で事前に業者間で調整し、受注予定者を決めていたら？
- 事例46 採算を度外視して商品を販売したら？
- 事例47 多量発注の見積価格の単価を少量発注の単価としたら？

4 公務員倫理とコンプライアンス

- 事例48 物品納入先官庁の担当者をゴルフに誘ったら？
- 事例49 国家公務員の友人の結婚式のご祝儀も賄賂になる？

5 インサイダー取引とコンプライアンス

- 事例50 インサイダー取引が規制される対象の範囲は？
- 事例51 インサイダー取引における重要事実の公表とは？

6 個人情報保護とコンプライアンス

- 事例52 ウチの会社も個人情報取扱事業者？
- 事例53 個人情報を取り扱うルールとは？
- 事例54 社員が個人データの入ったパソコンを持ち出し、紛失したら？
- 事例55 業務委託先から個人データが漏れたら委託元も責任を問われる？
- 事例56 他会社から事業を継承した場合の個人情報の取扱い？

7 営業秘密保護とコンプライアンス

- 事例57 営業秘密として保護される要件とは？
- 事例58 営業秘密の管理体制のポイント？

Unit 5 知的財産とコンプライアンス

1 知的財産権の概要

- 事例59 他社の著名なブランド名と類似するドメイン名を使用できるか？
- 事例60 他人の商品形態を模倣した商品を製作、販売したら？
- 事例61 人気キャラクターに似せて自分で描いたイラストをチラシに掲載したら？

2 特許とコンプライアンス

- 事例62 まねをした場合でなくても特許権侵害？
- 事例63 職務上の発明は会社に帰属するか？

3 著作権とコンプライアンス

- 事例64 新聞記事のコピーを社内で閲覧したら？
- 事例65 コンピュータのソフトウェアを不正コピーしたら？
- 事例66 自社のホームページに本人に無断で社員の写真を掲載したら？

4 商標権・意匠権・実用新案権とコンプライアンス

- 事例67 仕入販売商品でも商標権侵害？
- 事例68 商品区分が異なれば、同じネーミングでもかまわない？
- 事例69 意図的でなければ他社のものと似たデザインで商品を開発してよいか？
- 事例70 このアイデア、とるべきは特許、実用新案？

お試し読み、お申込はコチラ

＜クレジットカードでもお支払いいただけます＞



第一法規 事例コンプラ

検索

CLICK!